

2008年 4月 23日

ハイマート Heimat

ぐんま日独協会・会報

33号

発行者 鈴木 克彬

発行所 ぐんま日独協会

〒371-0105

群馬県勢多郡富士見村石井 2445-819

027-288-4297



目次	頁
会長・名誉会長挨拶	2
新役員紹介	3
総会資料	4～10
平形会長退任に伴う感謝会	11
名簿作成アンケート結果	12
トピックス	12

【お知らせ】

平形名誉会長がドイツ国勲章授与決定

5月15日にドイツ連邦共和国大使館にて授与式が行われます。

当日ぐんま日独協会より会長・副会長等役員が参列する予定です。

日独の更なる相互理解を目指して

会長 鈴木克彬

ドイツを限りなく愛され、人格円満で清廉潔白、学識経験豊富な平形会長の後任として会長をおおせつかりました鈴木です。浅学菲才ではありますが、誠心誠意努力する所存です。今後ともご指導・ご協力の程よろしくお願い致します。

さて今日、日本とドイツとの友好親善関係は、大変良好だと思えます。

日本から見て、地球温暖化対策やごみ削減施策等で環境先進国といわれるドイツに対し、多くの日本国民は、尊敬の念を抱いています。またベンツ・BMW・フォルクスワーゲン等のドイツ車は日本人の羨望の車です。一方ドイツ側から見ても、寿司等に代表される日本の食文化や多彩な伝統芸術・文化は、大変な関心事で興味深いものようです。

そもそも日独交流の歴史は、明治時代の初め、富国強兵の実現・文明開化の夢を果たすため、日本はドイツからの一方的な導入から始まったと思えます。しかしドイツ側は、その際の日本人の勤勉で進取的な姿勢に対し、逆に敬意を表し、将来の友好関係に思いを馳せたといわれています。

しかしこのような良好な友好関係の維持・発生は、すべて先人たちのご努力の賜物です。大切なのは、『更なる相互理解・友好関係を深めるため、これから私達は何をするか』だと思えます。環境問題への諸々の課題に対し、日独両国が手を携えて、地球規模の課題について対応していくのも一つの道だと思えます。それにしてもスタートは、相手を知ることから始めなくてはなりません。私達ぐんま日独協会は、県民の多くの皆様に『最新のドイツ』をご紹介するところからスタートしたいと思っています。会員皆様のご提言、ご協力をお願い致します。

感謝

名誉会長 平形義人

2008年4月5日県庁昭和庁舎の総会にて、昨年4月の全国日独協会草津大会や東京有栖川公園隣りのドイツ大使館新設大ホールでの“ぐんまドイツ展” “7月の第二次ドイツフェスティバル in Gunma”等の事業を含む決算及び明年度事業、予算及び人事が議決せられ、私の昨夏からの会長辞任届もご承認下され、後任に鈴木克彬会長が万場の拍手で決定し、尚（米寿）老年で御遠慮申上げましたが名誉会長をお受けさせられました。感謝感激に一杯です。之も議長の對馬良一副会長を始め塚越平人、島田卓爾、西田洽司、北爪和雄副会長、特別顧問佐藤進一先生はじめ各顧問、参与、常任理事、理事、会計その他会員・御家族、日独の先輩知己の御厚情の御蔭と感謝します。

つづいて、4時からは群馬会館大理石の間に内外の有志60人が特志を以て感謝会を催して下され県や市や有志の皆様から祝辞や花束を頂き、記念として“メルクリン社”の列車模型や H.ETHMER のオルゴール、塚越さんからは「宝船」などを頂き島田副会長の名司会西田副会長の結びで米寿の私も若返りました。感謝です。尚（財）日独協会古森重隆会長より「設立以来20年の長きに亙り会長を務められ、その拡大、発展に貢献され、鈴木新会長を初め有能な後継者を育て上げられ、1997年より（財）日独協会の評議員としてご協力いただきました。御礼と共に益々の御発展を祈ります。」との電報を頂きました。

“ドイツ好き集れ！ Willkommen in Gunma！”

以上

2008年~2009年(平成20年~21年)

ぐんま日独協会役員紹介

平成20年4月5日(土)群馬県庁昭和庁舎での平成20年(2008年)総会にて、次の通り役員が決まりました。

名誉会長	平形義人			
会長	鈴木克彬			
副会長	塚越平人	西田洽司	對馬良一	島田卓爾
	北爪和男	田口久美子		
事務局長	對馬良一(副会長兼務)			
次長	井上晃良	宮川進		
庶務会計	鈴木和子	黒田桂子		
監査	豊泉伊三男	木暮幸子		
常任理事	橋爪洋介	川島孝一	廣瀬正史	田所浪子
	堀口靖之	沖津弘良	渋谷ミドリ	富岡恵美子
	曾我隆一	前田勇	中島資浩	福田朋英
	松下照明	川田正彦	豊泉清	角田登
	神岡順次	井上敏子	飯塚実枝子	
理事	松田治男	澤井修子	藤井貞二	澤田まゆみ
	三井聡	川田正江	富所敏浩	富所民江
	末永秀雄	末永マサ子	木暮澤子	久保健二
	松浦孝久	藤生悦子		
事務局員	鈴木剛一郎	青木京子	杉内沙	
特別顧問	佐藤進一	黒田とめ子		
顧問	関口陽二	小野里光明	小林喬	白倉卓夫
参与	伊藤廉平	深澤厚吉	井口実	

平成19年度(2007年度)ぐんま日独協会 事業報告

- A 3月15日(木) 総会
- B 4月4日~4月27日・・・約一ヶ月間
ドイツ大使館内『ぐんま展』・・・別紙報告書参照
- C 4月24日~26日・・・三日間
草津温泉にて『全国日独協会連合会総会』・・・別紙報告書参照
- D 7月12日~16日・・・六日間
群馬県庁県民ホールにて『第2回ドイツフェスティバル in ぐんま』
・・・別紙報告書参照
- E 10月7日(日) 群馬県国際交流まつり参加・・・群馬県庁
- F 12月9日(日) ドイツ音楽の夕べ兼クリスマス会・・・群馬県庁Gフェース
演奏 立川統子さん(ピアノ)・田中志穂子さん(ヴァイオリン)
出席者 64名
ゲスト ドイツ大使館 ラインハルト・トーカー1等書記官
群馬県観光国際交流協会 寺澤専務理事
高崎経済大学留学中のドイツ人大学生5名 他
- G 5月18日~19日 日独協会総会(ドイツ パッサウ市で開催)に
対馬副会長、鈴木事務局長夫妻参加
- H 11月 ぐんま日独協会ホームページ作成

<http://www.jdg-gunma.jp/>

お詫び 諸々の事情により、19年度、ぐんま日独協会機関紙“ハイマート”
が発行出来ませんでした。お詫び申し上げます。

※ 特別3事業詳細実施報告

A ドイツ大使館内ぐんま展

- 期 日 平成19年(2007)4月4日(水)~4月27日(金) 一ヶ月間
- 場 所 ドイツ大使館内中央ホール
- 目 的 ドイツ大使館関係者及び同大使館訪問者への『ドイツとぐんまとのかかわり』について紹介(ドイツ大使館からの依頼による)
- 内容 1 ベルツ及びスクリュバー両博士と群馬県
2 建築家ブルーノタウトと群馬県
3 姉妹都市及び日独ロマンチック街道について
4 日本3首脳とのドイツとの交流(中曽根・福田・小渕元首相)
5 ドイツシーメンス社製(大正13年)電気機関車の模型展示

- 特記事項
- 1 4月4日15時からオープニングセレモニー実施
・・・中曽根さん出席、全体で約150名参加・・・
 - 2 セレモニーへの案内状は、デア大使名でドイツ大使館から、群馬関係の国会議員、市町村関係者、全国及びぐんまの日独協会関係者に送付された。
 - 3 当日の夕方から大使公邸で、ガーデンパーティーを行う
予定であったが、豪雨のため、パーティーは中止
 - 4 見学は、大使館来訪者及び群馬県からの見学者も含め多数とのこと。
大使館からの評判も最高点
 - 5 展示は、レイアウト等コンパクトに出来たと、概ね好評。
 - 6 会場が東京のため、その準備(3/26・12名、4/3・6名)と後片付け(5/1・8名)と多くの方々の協力を得た。

B 草津における全国日独協会連合会年次総会

期 日 平成19年(2007)4月24日(火)・25日(水)・26日(木)

場 所 草津温泉 ホテル 中澤 ヴィレッジ 他

主催 全国日独協会連合会

主管 ぐんま日独協会

参加者 218名 内訳 次の通り

ベルリン独日協会	13名	ドイツ大使館他	20名
全国日独協会関係	70名	青年・若手クラス	50名
ぐんま日独協会	50名	群馬県草津町関係	15名

日 程 4/24 午後 草津町観光 夜 たたみパーティー
4/25 午前 総会と講演会 午後 3コース分割実施
夜 ドイツ大使主催のパーティー
4/26 午前 群馬県庁・少林山達磨寺

特記事項

- 1 ドイツ大使館からデア大使、フィッシャー公使を含め、13名の関係者が来県された。またベルリン独日協会からも12名が参加。
- 2 若手クラス50名(経費負担はドイツ側ダイムラー社)の参加があったことで、総会その他のミーティングが大変盛り上がった。
- 3 連合会総会では、初めてドイツ大使主催のパーティーが行われた。
- 4 三日間を通じ総会は活気に満ち、大盛況の内に終了した。
- 5 4/26、フィッシャー公使夫妻、小寺群馬県知事を表敬訪問。
- 6 経費・運営面で、エージェント(業者)は一切入れず、ホテルと参加者の直接精算方式とした。
- 7 当日の冊子等印刷物へのコンピューター処理及び印刷は、すべて自前で行った。
- 8 その他、献花・植樹・コーラス・写真・お土産等について、多くの方にお世話になった。

C 第2回ドイツフェスティバル in ぐんま

期 日 平成19年(2007)7月12日(木)～16日(月・祝) 五日間

場 所 群馬県庁 1階 県民ホール 県民広場

参加者 延16,000名・・・内訳次の通り

7/12 3,000名 7/13 2,000名 7/14 3,000名

7/15 3,000名 7/16 5,000名

- 内 容
- 1 今回は、オープニングセレモニーにテープカットは実施せず。
 - 2 第1回ドイツフェスティバルに続いての実施は下記の通り
観光展・環境展・ベルツ展・タウト展・ドイツ車・ドイツ靴
木製おもちゃ・パン・クッキー・菓子・紅茶・ソーセージ・ハム
フォークダンス・ヴァイオリンとピアノの演奏
 - 3 今回初めて導入したもの
ワイン・ビール・マウルタッシェン・プレッツェル、
メルクリンの鉄道模型実演販売・ドイツアクセサリー・
・シーメンス製電気機関車の模型走行
 - 4 14日・15日と台風に遭遇したが、来場者は多く、盛況であった。
今後とも、二年毎位の実施を検討したい。
 - 5 ドイツ大使館からは、ペーター・ゲルス財務担当参事官
(通訳山名さん)と東京日独協会からは木村敬三元ドイツ大使夫妻が来県
された。
 - 6 今回のフェスティバルは、NHK及び群馬テレビでも放映された。そ
の結果か、プレッツェル、ドイツパンに人気があった。また、メルクリ
ンの鉄道模型の実演も好評。
 - 7 ドイツ大使館のお世話で、ドイツ農産物振興会とコンタクトがとれ、
プレッツェル・マウルタッシェンの販売が可能となった。
 - 8 ドイツ観光局製作の『ドイツ観光パネル』78枚は、今後
ぐんま日独協会の所有になる可能性あり。ご活用を・・・

当三事業は、皆様からの労力・資金両面その他多くのご援助により達成
出来たものであり、ここに改めてお礼を申し上げたい。

2007年8月23日 ぐんま日独協会

会 長 平形 義人

事務局長 鈴木 克彬

平成 19 年度(2007 年度)ぐんま日独協会決算報告

平成 20 年度 2 月 ぐんま日独協会事務局

収入の部	19,年度実績	19 年度予算	差額
繰越金	311,823	311,823	0
会費	537,000(151 名)	460,000(135 名)	+77,000
個人	321,000 (3,000×107)	300,000(3,000×100)	
家族	11,000 (500×22)	10,000 (500×20)	
法人	190,000 (10,000×19)	150,000 (10,000×15)	
その他	15,000(前年度分)	0	
事業費	473,070	230,000	+243,070
総会	0	0	
夏例会	0	0	
国際交流まつり	71,240	30,000	
ドイツ音楽の夕べ	401,830	180,000	
その他	0	20,000	
寄付・利息	1,021	150,000	-148,979
収入計	<u>1,322,914</u>	1,151,823	+171,091

支出の部	19 年度実績	19 年度予算	差額
事業費	451,315	590,000	-138,685
総会	30,000	20,000	
夏例会	0	0	
国際交流まつり	103,396	20,000	
ドイツ音楽の夕べ	317,919	250,000	
3 事業への助成金	0	300,000	
会議費	16,320	20,000	-3,680
通信費	107,735	100,000	+7,735
事務費	21,469	15,000	+6,469
印刷費	0	250,000	-250,000
講演会費	0	30,000	-30,000
出張交通費	158,284	100,000	+58,284
交際費	42,310	0	+42,310
振込み手数料	10,500(106 名分)	15,000	-4,500
予備費	25,000	31,823	-6,823
支出計	<u>832,933</u>	1,151,823	-318,890

◎次期お繰越金 $1,322,914 - 832,933 = 489,981$ (会計簿・預金通帳と同額)

以上相違ありません 平成 20 年 2 月 27 日 監査 黒田とめ子

平成19年・ぐんま日独協会

特別3事業 特別会計報告

2007年8月23日 ぐんま日独協会 事務局長 鈴木克彬

収入	寄付一A(事業全般)	710,860円
	寄付一B(総会指定)	180,000円
	計	890,860円

支出

	ドイツ大使館ぐんま展勘定への助成	119,806円
	草津全国日独協会総会勘定への助成	127,168円
	(草津指定の寄付金)	180,000円
	ドイツフェスティバル勘定への助成	99,217円
	計	526,191円

残金 収入ー支出＝890,860円ー526,191円＝ 364,669円

尚、残金は一般会計には組み入れず、特別会計の残とし、永年の懸案事項である『ぐんま日独協会のホームページ』の作成及び運営費に充当することを8月23日の役員会で承認されたことを申し添えます。

特別会計からの出費

1	ホームページ作成費及び初期管理費	210,360	マエダスタジオ
2	同振込み手数料	525	
	残高	364,669	ー210,885＝153,784

当153,784円は、群馬銀行の通帳(特別会計)で管理・・・20年2月12日 鈴木
以上相違ありません 平成20年2月27日 監査 黒田とめ子

平成20年度（2008年度）

ぐんま日独協会 事業計画

- A 2月20日(水) 副会長会議
- B 3月 5日(水) 役員会
- C 4月 5日(土) 総会及び平形会長感謝会
- D 4月下旬～5月上旬 ドイツ カールスルーエ市で開催される総会
及び日独パートナー会議に出席 下記8名が参加予定
佐藤進一、對馬良一、豊泉清、豊泉君代、
末永秀雄、末永マサ子、鈴木克彬、鈴木和子
- E 5月20日～21日 ドイツ民族舞踊グループ『エツイ』来県
・・・主管 前橋市フォークダンス協会・・・
- F 6月又は7月 ドイツ訪問団8名からの帰京報告会
- G 8月又は9月 夏例会（ドイツ サマーコンサート）
・・・明治時代以降のドイツ音楽の日本導入の歴史・経過を探る・・・
- H 10月 群馬県国際交流まつり 参加
- I 10月～11月 環境先進国としてのドイツから環境問題を学ぶ研究・講座
- J 12月 クリスマス会を兼ねて『ドイツ音楽の夕べ』
- K 2月 未定

◎ ハイマート 2～3回発行し、登録会員との交流の活性化を図りたい。
・・・今年度から、経費面を配慮し、パソコン作成を検討予定・・・

注 記 J項の『環境問題の研究・講座』及びH項の『ドイツ音楽の日本導入の歴史を探る』の2テーマについては、ドイツ大使館からの斡旋により、ドイツ本国外務省宛、“2008年度外務省海外文化事業助成金事業”の枠を申請中です。

平成 20 年度(2008 年度)ぐんま日独協会 予算

収入の部	20 年度予算	19,年度実績	
繰越金	489,981	311,823	+178,158
会費	410,000	537,000	-127,000
個人	300,000(3,000×100)	336,000 (3,000×112)	
家族	10,000 (500×20)	11,000 (500×22)	
法人	100,000 (10,000×10)	190,000 (10,000×19)	
事業費	280,000	473,070	-193,070
総会	0	0	0
夏例会	50,000	0	+50,000
国際交流まつり	30,000	71,240	-41,240
ドイツ音楽の夕べ	200,000	401,830	-201,830
環境講座	0	0	0
寄付等	130,000	1,069	+128,931
収入計	1,309,981	1,322,962	-12,981
支出の部	20 年度予算	19 年度実績	
事業費	530,000	451,315	+78,685
総会	30,000	30,000	0
夏例会	50,000	0	+50,000
国際交流まつり	50,000	103,396	-53,396
ドイツ音楽の夕べ	200,000	317,919	-117,919
環境講座	100,000	0	+100,000
記念事業	100,000	0	+100,000
会議費	30,000	16,320	+13,680
通信費	100,000	107,735	-7,735
事務費	20,000	21,469	-1,469
印刷費	300,000	0	+300,000
出張交通費	150,000	158,284	-8,284
交際費	50,000	42,310	+7,690
振込み手数料	15,000(130 名分)	10,500	+4,500
ホームページ維持費	40,000	0	+40,000
予備費	74,981	25,000	+49,981
支出計	1,309,981	832,933	+477,048

『平形会長退任に伴う感謝会』開催報告

平形会長退任に伴う感謝会を平成20年4月5日 16時から 群馬会館大理石の間において60名のご出席の元、盛大に開催しました。

島田卓爾副会長の司会で、発起人代表塚越平人副会長の挨拶に始まり鈴木克彬新会長の挨拶のあとご来賓の方のご祝辞をいただき、平形前会長（新名誉会長）の謝辞、佐藤進一特別顧問の乾杯で宴が始まりました。

島田卓爾副会長の名司会で皆さんよりの御礼のお言葉や思い出話しに花が咲き、歌を披露される方もおられ、全員での合唱と楽しい会でした。

又、多くの方より記念品の贈呈、花束の贈呈がありました。



会員名簿作成アンケート結果

- ・名簿作成配布をして良いと答えた方は、名前と住所までなら良いを含め 97%でした。
 - ・この結果を踏まえ総会にお図りした結果会員名簿を作成配布することに決まりました。
- 尚、名簿に情報を記載しないで欲しい方は、事務局までご連絡ください。

トピックス

平形義人前会長，ドイツ国勲章叙勲のお知らせ

今般、ぐんま日独協会長(全国日独協会連合会副会長)を退任された平形義人先生に対し、ドイツ連邦共和国より勲章が授与されることになりました。当受賞は、20年間のぐんま日独協会長としての日独交流・貢献を含め、50年以上に亘る日独医学間交流への関わりも考慮されたものです。授与式は、5月15日(木)、東京広尾にあるドイツ連邦共和国大使館で行われます。

ドイツサロンへどうぞ

- ・ 毎月第一土曜日 ・ 高崎でオープン ・

『ドイツについて、いろいろとおしゃべりをしたい』

『ドイツに関する情報を知りたい』『ドイツ人と交流をしたい』等々のご要望に対し、気楽に楽しみながら交歓が出来るサロン(紅茶店)を下記の場所に設けます。

当日は、ぐんま日独協会の正副会長等役員も出来る限り参加いたしますので、是非お立ち寄りください。

場所ドイツロンネフェルト紅茶店『陶豆屋』

・高崎市石原町 3235 tel027-327-4151

日 時 毎月 第一土曜日

13:30～20:00

- ・時間内なら何時でもお出かけください
- ・ドイツに関する関係資料等を若干用意するつもりです

◎ 陶豆屋マスターの鈴木剛一郎さんは、ぐんま日独協会の企画担当の事務局員役員です。

